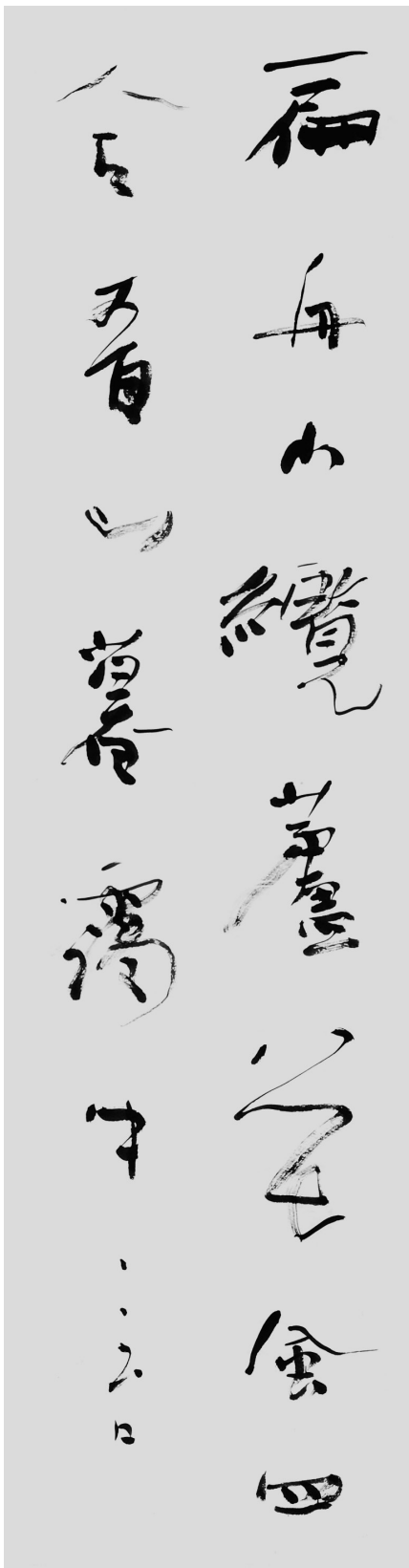


3月25日正午必着

明石春浦先生書



扁舟一棹歸何處

家在江南黃葉村

これは畫に題せるものである。

西 墨濤先生書



カール・ブッセの詩より

平成二十六年の春の日に。巻にて。〇。やく〇。〇

山のあなたの空遠く 幸に住むと人のいふ。(カール・ブッセ詩・上田敏訳「山のあなた」)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

蕭然物外心 (黄任)

蕭然物外しょうぜんぶつがいのこころの心

物外は世間の外。世外世俗を超越した静かな心境。

春至人偏去 春歸人未歸
可憐雙燕子 空逐落花飛 (趙世昌)

春至はるつて人偏ひとに去り、春歸はるれども人未ひとだ歸かへらず。
憐あはむ可べし雙ふた燕子あな、空あかしく落花はなを逐おうて飛とぶ。

春の来る頃わたしを置いて行ったきり、春の終りになってもまだ帰って来ない。二羽の燕が無心に落花を追って飛ぶのもいじらしや。

送樊兵曹謁潭州韋大夫 (李嘉祐)

樊兵曹はんべいそうが潭州たんしゅうの韋大夫いだいふに謁えつするをおく送る 李嘉祐りかきゆう

塞鴻歸欲盡 北客始辭秦

塞鴻さいこう 歸かへりて尽つきんと欲ほつす 北客ほくかく 始はじめて秦しんを辞じす

零桂雖逢竹 瀟湘少見人

零桂れいけい 竹たけに逢あうと雖いまだも 瀟湘しょうしやう 人ひとを見みること少まれならん

江花鋪淺水 山木暗殘春

江花かうか 淺水せんすいに鋪しき 山木さんぼく 殘春ざんしゆんに暗くらし

修刺轅門裏 多憐爾爲親

刺しを修しゅうす 轅門えんもんの裏うち 多おほく憐あわれむ 爾なんじが親おやの爲ためにするを

空澄みて寒きひと日やみづつみの氷の裂くる音ひびくなり (島木赤彦)

夜半樟亭驛 愁人起望郷
月明何所見 潮水白茫茫

夜半樟亭驛 愁人起望郷
月明何所見 潮水白茫茫

夜半樟亭驛 愁人起望郷
月明何所見 潮水白茫茫

(白樂天)

夜半の樟亭驛 愁人起って郷を望む
月明何の見えるところぞ 潮水は白茫々たり

明石幸子書

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

護 園
花 春
蝶

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書

園春蝶
護花

隸書

園警蝶
護谷

明石春浦先生書

草書

園春蝶
護花

行草書

園警蝶
護花

美玉を抱きながら（才能を有しながら）、この京城繁華の地で涙にくれる 故郷の山々は、帰り行く道程があまりに遠い
静けさは禅僧の房に傍うてただよい 奥深さは庶民の家のよう
林に日は暮れて、鳥たちはねぐらの木を争い 庭に春が訪れ、蝶は花を守護するかのよう
東の城門の所には空き地がある 誰がかの邵平に倣って瓜を種えるだろう

下第寓「居崇聖寺」 許渾

懷玉泣京華

舊山歸路賒

靜依禪客院

幽學野人家

林晚鳥爭樹

園春蝶護花

東門有閑地

誰種邵平瓜

下第して崇聖寺に寓居す

許渾

玉を懷いて 京華に泣く

旧山 帰路賒かなり

静は禅客の院に依り

幽は野人の家を学ぶ

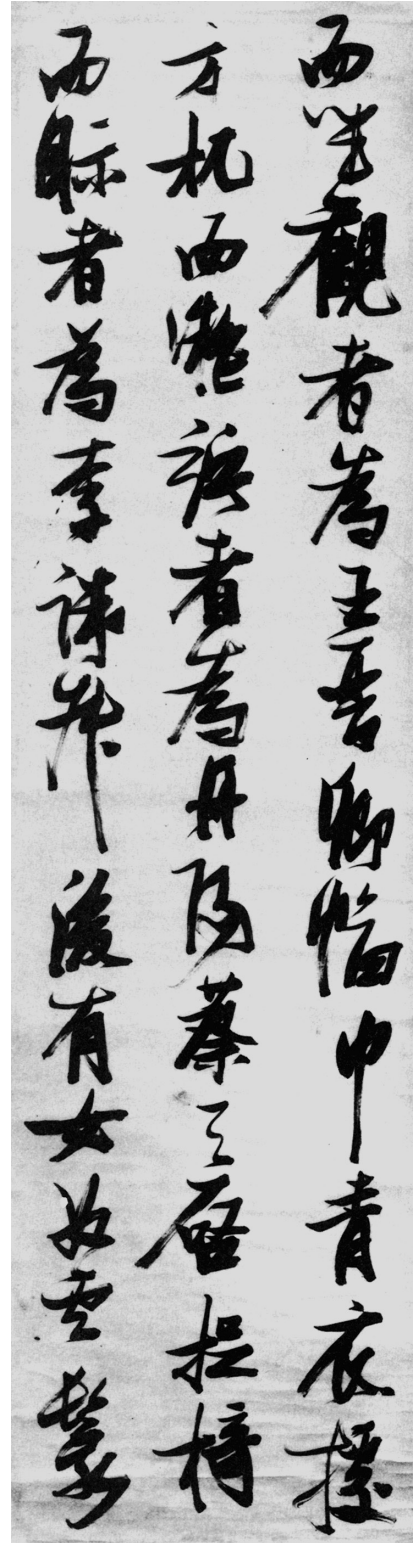
林は晩れて 鳥は樹を争い

園は春にして 蝶は花を護る

東門に閑地有り

誰か邵平の瓜を種えん

3月25日正午必着



(仙桃巾紫裘) 而坐觀者、為王晉卿、幅巾青衣、拋方机而凝竚者、為丹陽蔡天啓、捉椅而跡者、為李端叔、後有女奴、雲鬢。
 (仙桃巾・紫裘) して観る者を、王晋卿と為す、幅巾・青衣、方机に抛りて凝竚する者を、丹陽の蔡天啓と為す、荷を捉りて跡る者を、李端叔と為す、後に女奴有り、雲鬢

窪田華岳先生臨書



(仙桃巾・紫裘) して観る者を、王(晋卿)と為す、

明張瑞図・西園雅集図記

張瑞図は南方の福建省の人で字を長公、号は二水、別に果亭山人・平等居士などといった。明の隆慶四年(一五七〇)の生まれで没年は不詳であるが、かれの文集の白毫菴集に生まれた年と七十才まで生きたことが記されているので、崇禎十二年(一六三九)までは生存していたことがわかる。かれの経歴をみると、三八才で進士に及第し、まもなく翰林院に入り、以後官に仕えた。そして、三六才頃に礼部尚書という役職を拝命して入閣したが、上司が横暴不正によって処刑されたために、その上司に加担したとして議定処分を受けて官を失った。後世、かれの人物評がよくないのはそのためであるといわれている。したがって、書画をよくし晩明の四大家の一人に数えられながら、一般的にはその書画は珍重されなかった。中国本土で珍重されなかったためか、わが国にもたらされた中国書画の中にかれの書が多く、わが国の書道に影響を及ぼしたといわれている。この西園雅集図記もそのひとつで、東京国立博物館に所蔵されている。金箋紙一二屏、一紙各三行で全五〇三文字の大作である。極端に行間をあけたスタイルで求心的に文字の懷を締め、木の葉が舞い落ちるさまのように鋭く転折を反らせた落葉式と呼ばれる独自の軽妙なタッチで書かれている。(春濤)

3月25日正午必着

而送觀者為王昔御幅
 中青衣授方札而

・
 ・
 臨口

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

窓心驚落木
 夜坐聽秋風
 日新窓心驚落木
 生涯在鏡中

・
 ・
 大い

かくしんらくぼくにおどろき
 客心驚落木
 やざしゆうふうをきく
 夜坐聽秋風
 あしたにようびんをみれば
 朝日看容鬢
 しょうがいまようちゆうにあり
 生涯在鏡中

(薛稷)

旅人は 落葉にも心を動かされ 夜中坐りながら 秋の風に耳をすます
 翌朝 髪かたちを鏡にうつして見つめると 自らの生涯が そこにうつし出されているかのよう



あさ
朝

がすみ
霞

中学一年

雨宮春聲先生書



はな
花

かげ
影

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



けい
計

かく
画

小学五年

藤井良泰先生書



わか
若

な
菜

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着



てん
天

ち
地

小学三年

細谷春誠先生書



しろ
白

ざけ
酒

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

は と 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

たか 高 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

原にしみこんでゆく	雪どけ水の多くが湿
-----------	-----------

小学五年

見て集まる人がいる	この街は成功をゆめ
-----------	-----------

小学六年

のすみに植えられた	卒業の記念樹が校庭
-----------	-----------

中学

変わりを告げている	雪どけ水が季節の移り
-----------	------------

一般(級位)

青柳の糸よりかくる春しもぞ乱れて花のほころびにける	春柳の糸よりかくる春しもぞ
---------------------------	---------------

一般(段位)

あをやなぎのいとよりかくるはるしもぞみだれてはなのほころびにける(紀貫之)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

た	か
か	み
く	ひ
	こ
と	う
ん	き
だ	か

幼年

白	ひ
ざ	な
け	ま
を	つ
の	り
ん	に
だ	

小学一年

る	た
	に
ゆ	問
き	に
ど	な
け	が
水	れ

小学二年

人	白
の	雪
こ	ひ
び	め
と	と
た	
ち	七

小学三年

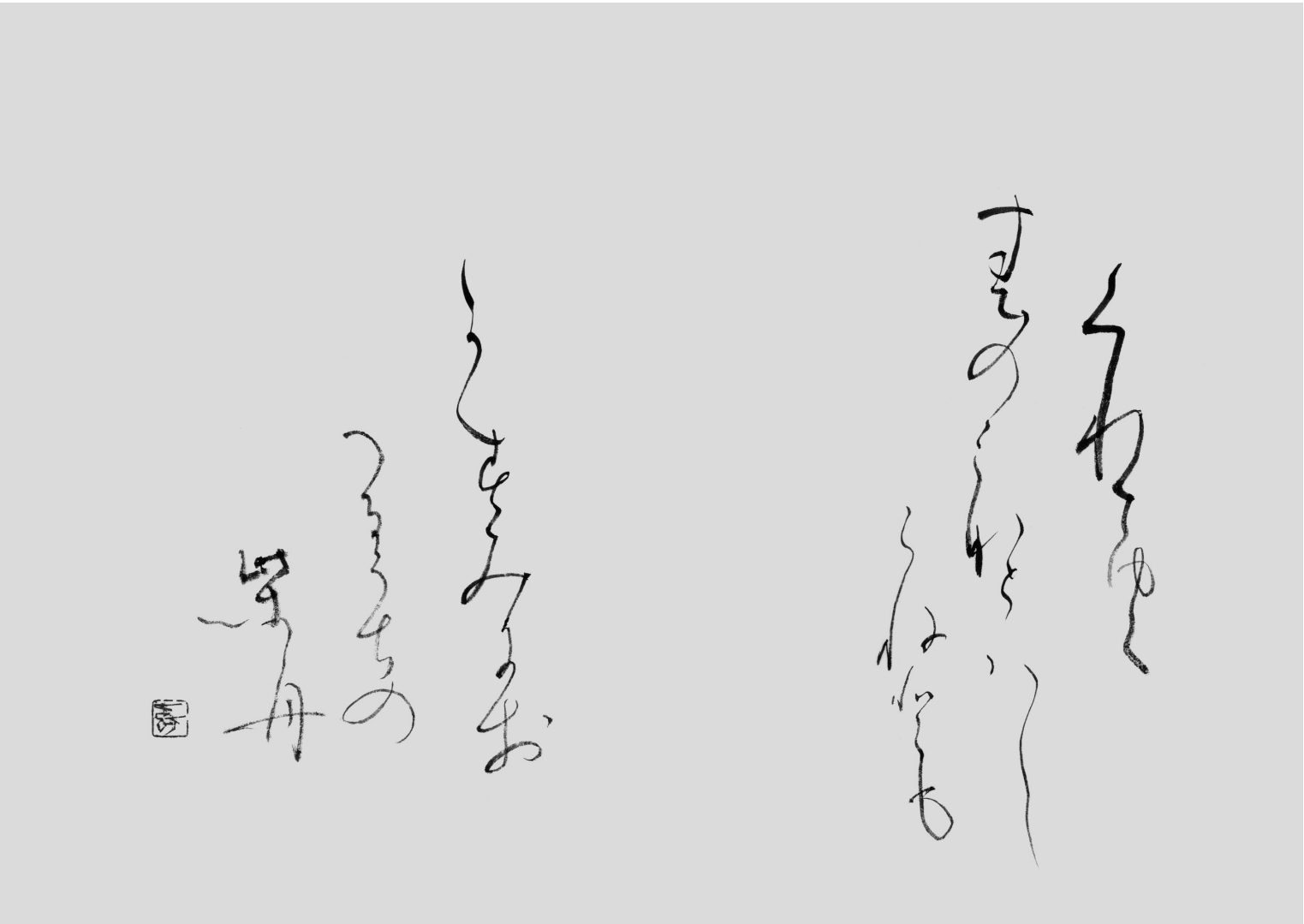
の	花
球	だ
根	ん
を	に
植	チ
え	ュ
ま	ー
し	リ
た	ッ
	プ

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

3月25日正午必着



岩本景楓先生書

く
れ
て
ゆ
く
春
の
み
な
と
は
し
ら
ね
ど
も
か
す
み
に
お
つ
る
う
ち
の
柴
舟
(寂蓮)

三那

八

登

可

春

尔

(字)

世)